

# グローバルな感覚を育む機会の創出に向けた アドバイザリーボード

令和8年2月16日（月）

第1回

グローバルな感覚を育む機会の創出に向けたアドバイザーボード

知事挨拶

# グローバルな感覚を育む機会の創出に向けたアドバイザーボード

## 委員紹介

氏名	所属
秋田 喜代美	学習院大学文学部 教授、東京大学 名誉教授
ウスビ・サコ	東京都公立大学法人 理事（国際担当）
内田 千春	東洋大学福祉社会デザイン学部 教授
荻野 勉	開智国際日本語学校 校長
柴山 真琴	大妻女子大学家政学部 教授
林 礼子	国際資本市場協会 理事
藤田 保	上智大学言語教育研究センター 教授、センター長
モハメド・オマル・アブディン	参天製薬株式会社 基本理念・サステナビリティ本部 基本理念・CSV 推進部 スペシャリスト、東洋大学国際共生社会研究センター 客員研究員

（五十音順、敬称略）

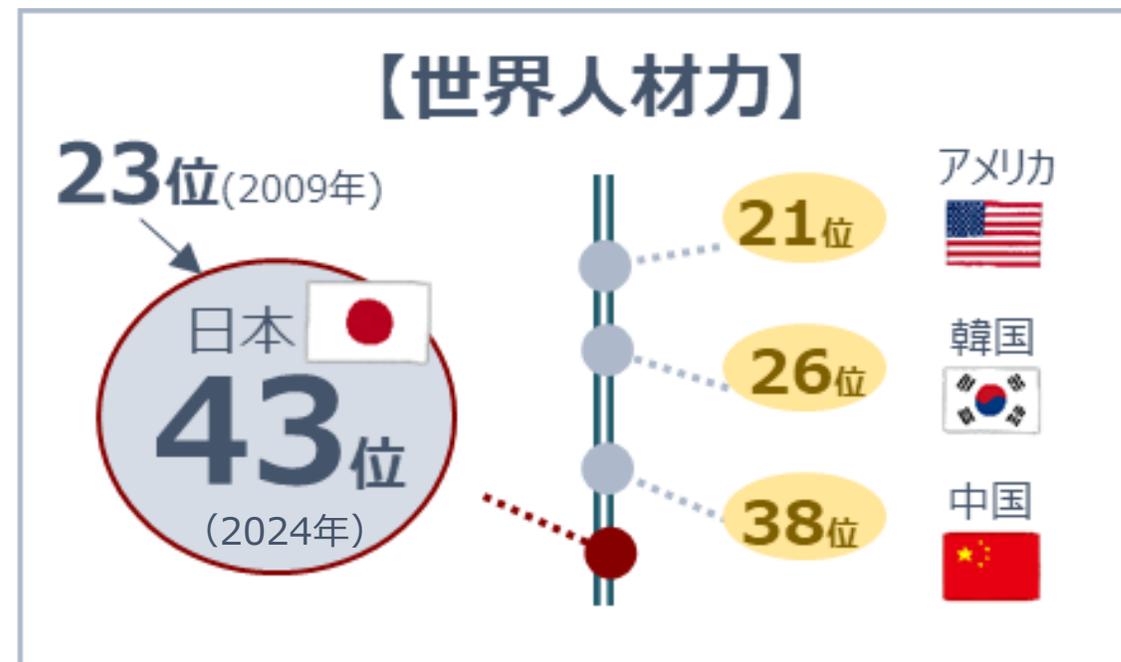
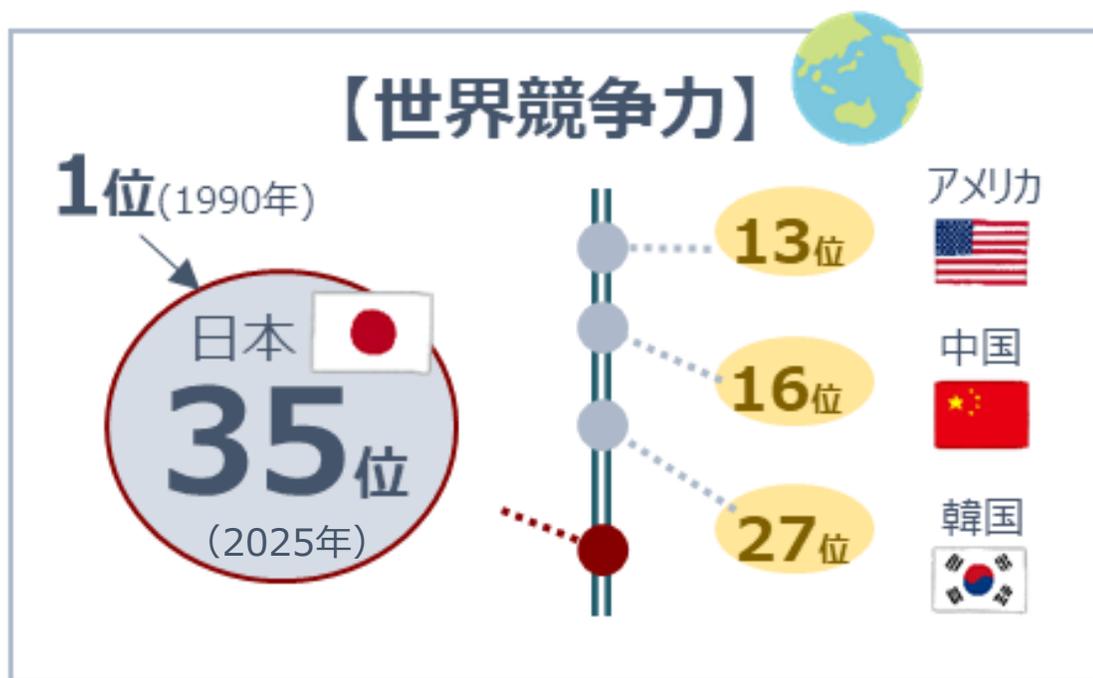
事務局説明

本日のテーマ

将来の活躍を見据え、  
育むべき「グローバルな素養」

# グローバルな感覚を育む機会の必要性

## 日本の国際競争力・人材競争力が低下



日本：上級管理職の国際経験：67位/67か国  
語学力：66位/67か国

(資料) IMD「World Competitiveness Yearbook」を基に作成

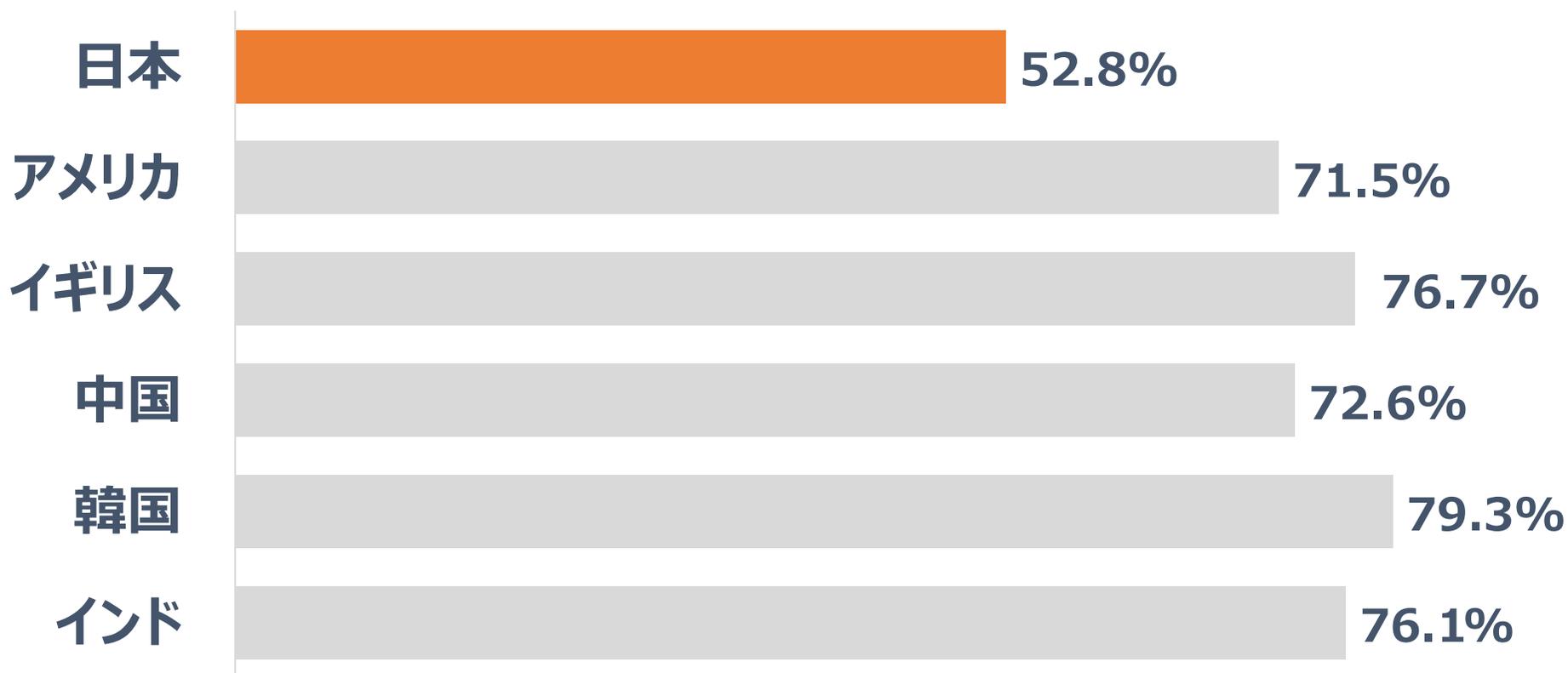
(資料) IMD「World Talent Ranking」を基に作成

# グローバルな感覚を育む機会の必要性

## 日本の若者の海外志向は、諸外国と比べて低い

機会があれば留学や他国で就労をしてみたいと思う

※各国の17歳～19歳男女が回答

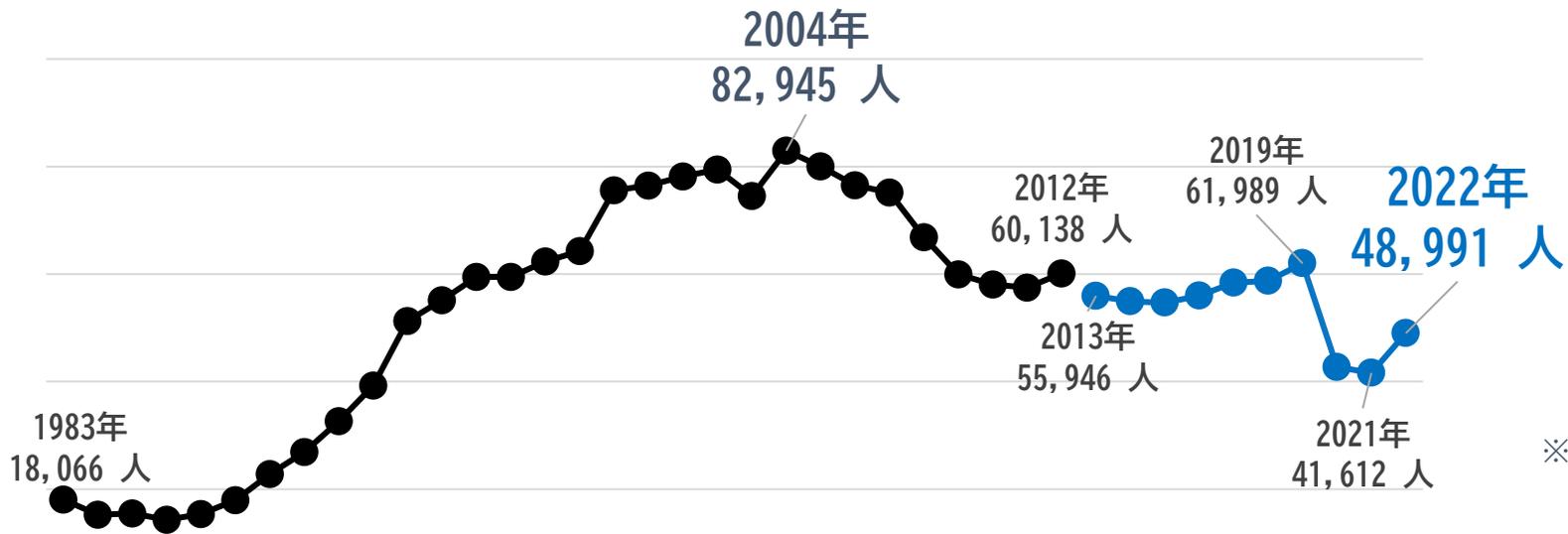


(資料) 日本財団「18歳意識調査 (2024年)」を基に作成

# グローバルな感覚を育む機会の必要性

## 日本の学生の留学状況

海外の機関が把握する日本人留学者数（主に長期留学） [OECD 等による統計]



（資料）文部科学省 「日本人学生の海外留学状況」（2025年）」を基に作成

新型コロナウイルス感染症  
の影響が落ち着き、  
留学する学生数は回復傾向

※ 2012年統計までは、外国人学生（受入れ国の国籍を持たない学生）が対象だったが、2013年統計より、高等教育機関に在籍する外国人留学生（勉学を目的として前居住国・出身国から他の国に移り住んだ学生）が対象となったため、比較ができなくなっている。

子供たちが、将来、世界を舞台に活躍できるよう、  
意欲を育み、チャレンジを後押しすることが必要

# グローバル人材育成に向けた都独自の海外留学支援制度

大学生等向け 「海外留学の最初の一歩」 をサポート

## 東京グローバル・パスポート

～あなたの留学、東京が背中を押す。～

2026年夏留学から支援を開始！！

### 求める人材像

将来のグローバル人材として、自ら考え行動する主体性を持ち、  
未知の領域へ果敢に挑戦する意欲に溢れる学生



### 支援の概要

- ・留学費用の一部を支援
- ・事前研修・報告会を実施

コース	募集人数	支援金額 (アメリカ留学の場合)
短期コース (夏留学)	250名 ※春留学と合わせ年間500名	最大 90万円
中長期コース	100名	最大315万円 ※留学期間が12か月の場合

所得制限なし

# グローバル人材育成に向けた都独自の海外留学支援制度

高校生向け 次代を切り拓く若者たちへ

## 次世代リーダー育成道場

～世界で、自分を鍛えてみませんか～

### 求める人材像

世界や日本の将来を担うリーダーとなることを目指し、  
他者と協働しながら地球規模の課題等の解決に向けて貢献する人材

### プログラム

国内事前研修で様々なことを学び、留学にチャレンジする都立高校生等を支援

国内事前研修

約11か月の留学

国内事後研修



### 参加者の声

- 高校生で海外に留学するという同じ決断をした**同志と、お互いに切磋琢磨しあい、刺激しあい、さらなる高みを目指すその過程は、とても意義深い**ものでした。
- 次世代リーダー育成道場での経験は、私の**視野を日本から世界へと広げてくれました**。留学には失敗も成功もなく、与えられた環境の中で、**どうあがいて自分で何かをつかみ取るかが重要**だと思います。

子供たちが将来、世界を舞台に活躍する未来を描けるよう、  
早くから多文化に親しみ、豊かな国際感覚を育む機会を創出

## ● 幼児期

アドバイザーボードの意見を参考に、  
幼稚園や保育所等における実地調査を踏まえ、取組の方向性等を検討

## ● 小・中学生期

都内の小・中学生を対象に、  
世界の多様な文化・社会等を体験できるプログラムを実施

# 今後の取組に向けた論点

## 論点 1

世界を舞台に活躍するうえで、  
求められるグローバルな素養

## 論点 2

グローバルな素養を育むうえで、  
必要な環境・取組

プレゼンテーション

大阪大学大学院医学系研究科教授

林 克彦 様

- ・ 雌雄のマウス由来のiPS細胞から卵子を作り、  
子供を誕生させることに成功
- ・ 2024年、タイム誌「世界で最も影響力のある100人」選出